

東洋コウモリ研究所

京都府相楽郡笠置町笠置 代表 前田喜四雄
E-mail:koumori@abri.or.jp

東洋コウモリ研究所は京都府相楽郡笠置町を拠点として、活動しています。本研究所では、哺乳動物の研究の中で最も遅れているコウモリ類の調査研究を推進し、その成果を自然環境の保護に役立て、人々が享受できるような活動を行う事を目的としています。



<活動紹介 1>

・ コウモリ観察会の実施



コウモリの活動期である 5 月から 9 月までの間にコウモリの生態に関するレクチャーと野外でコウモリの超音波を人間の耳に聞こえるように変換する機械（バットディテクター）を使って、コウモリの声聞く観察会を実施しています。

コウモリは昼間どこにいるの？コウモリが冬眠するって本当？やっぱり血をすうの？そんな様々な疑問におこたえしながら、自然界におけるコウモリの役割などについて理解を深めてもらえればと考えています。

<活動紹介 2>

・ 東洋コウモリ研究所研究発表会と研究紀要の発刊



本研究所の会員の研究発表の場として、年に 1 回、研究発表の場を設けています。昨年度は 12 演題の発表がありました。

またそれらをまとめた研究紀要もすでに第 13 号まで発刊しています。

<活動紹介 3>

・ 日本に生息するコウモリ類の生息実態調査の実施



主に近畿地方に生息するコウモリ類の生息実態調査を実施

夜間の活動中や昼間の休憩場所での捕獲調査やそれら捕獲個体への標識装着も実施しています。標識を装着し、また再度捕獲した際には移動距離や年齢などを把握することが可能となります。

(※コウモリ類の捕獲には特別な許可が必要で、無断で捕獲することはできません)